

6月7日告示、16日投票

# 沖縄県議選

# 予定候補者紹介

# 絶対に戦場にさせない

## 日本共産党

日本共産党県議団の団長を務めて8年、基地のない

基本に位置付けられています。

者の困りごと相談状況の把握などに着手していると答

沖繩を訴え続け、県の執行部からも「必要欠くべからざる議員だ」と評される県政の大黒柱です。

日頃から沖繩21世紀ビジョン策定をめぐる「基地のない沖繩を目指す」との文言を盛り込むよう当時の知事に迫り、県議会全会一致の決議を主導。玉城デニー

とぐち予定候補は、日本全国をはじめ、米政府と連邦議会、国連、ASEAN(東南アジア諸国連合)本部などを訪問し沖繩の実態を訴えてきました。「ASEANの取り組みを学び、平和の自治体外交を」と訴え続け、沖繩県が行う地域外交にも取り入れられています。

大きく報じました。選挙は16人が定数11を争う見通しで、野党は自民が前回当選の2増、公明も1増を狙い、いずれも現那覇市議を新人で擁立。誰が落ちてもおかしくない前回以上の大激戦です。

2008年初当選。1期

県政下での新ビジョンでも

### 那覇市・南部離島区(定数11)

## とぐち 修 予定候補(70)現



【プロフィール】 沖縄国際大学卒業。民青那覇地区委員長、党県委員会勤務などを経て那覇市議3期。現在、県議4期目。

全国一深刻な沖縄の「子どもの貧困」をめぐるっては、データを示し対策を提案。中学卒業までの子ども医療費の窓口無料化、少人数学級を全学年に拡大して実現しました。高齢者の貧困問題についても、実態調査の実施と対策基金の創設を要望。2月定例会で県が高齢

沖繩で日米の軍備増強の動きが強まる中、比嘉みずき予定候補とともに共産党2議席の絶対確保に決意を強めます。「いま戦争か平和かの分岐点。デニー知事と力を合わせ絶対に沖繩を戦場にさせない」(しんぶん赤旗 2024年3月23日より)